



信濃小中学校だより そよげわか竹

えみ 咲 ~笑え! それが全ての原点~

9月

27日(金)。信濃小中学校の第2回秋桜祭が始まりました。



9年生の児童生徒会役員が、朝早くから玄関前に大型アーチを設置していました。「楽しんでもらいたいのしかけ」の一つです。9年生の一人が、「登校してきた下級生が、これを見てどう感じてくれるか楽しみです」と言っていました。2便のバスで登校してきた初等部の子どもたち。立ち止まってアーチを見上げながら、「スゲー!秋桜祭楽しみ!」と声を上げていました。



階段の装飾

階段の装飾にも驚きました。誰の発想? いつ描いたの? どこで描いていたの? 採光的に中央階段はやや暗く、狭い感じがしていたのですが、この装飾で来校者を迎える中央階段が、一気に明るく温かくなりました。「今年の秋桜祭は、どんなしかけがあるのだろう」と、校舎を回る楽しみが、膨らみます。学校の中が様々な作品で飾られました。その一つ一つが、一時間一時間の学習の積み上げです。秋桜祭のための作品ではなく、作品を通して、「ねらい」に即した授業が見えてくることを嬉しく、ありがたく思います。



クラブの展示

それぞれのクラブでの取り組みも信濃小中学校の大きな特徴であり、自慢の一つです。全13のクラブが全て地域講師によって指導されている、こんな学校は県下にもそうはたくさんないはず。でも、地域の方が関わってくださることによって、子どもたちの学びの機会が広がります。その道のエキスパートに指導を受けることによって、学びの質が深まります。秋桜祭を通して、信濃小中学校の「地域とともに子どもを育てる仕組み」を知っていただけたこと、大変

ありがたいと思っています。そして、今年の秋桜祭の一番の特徴は、準備段階からの初等部と高等部の交流です。初等部、高等部が協力し合って、縦割り班の旗やステーションバックの作成に取り組んできました。全校でフォークダンスも楽しみました。初等部の「元気っ子祭り」には、今年は高等部も参加します。初等部と高等部のごく自然な温かな交流が、2日間の秋桜祭にふんだんに用意されています。



元気っ子祭り

文化祭を振り返って (高等部編)

第2回

秋桜祭のテーマは「咲く笑え!」それが全ての原点。今年度の秋桜祭をつくるに当たって、大切にできたことがあります。それは次の2重点です。

(1) 役員や9年生が主役になるのではなく、脇役になり、全校を主役にする。

・テーマにそのことがよく表れています。「役員や9年生だけが楽しむのではなく、全校が楽しめ、笑顔の花が咲くように」という願いがこもったテーマです。

・開閉祭式のスライドで、9年生や中学生をたくさん映すのではなく、できるだけ全校が登場できるように工夫しました。

(2) 全校でのつながりを大切にします。全校制作、全校参加企画という2つの全校で動く時間を設け、それぞれを1、9年生までが一緒になる「縦割り班での活動」

としました。計画段階では難しい活動でしたが、当日までに何回か縦割り班での活動を取り入れることで抵抗感がなくなり、初等部と高等部の交流や会話が自然とみられるようになってきました。



こうして振り返ってみると、高等部が初等部の面倒をみるという一方通行の活動だけでなく、初等部が高等部に笑顔を与えたり、高等部が初等部を気遣ったりと、お互いにより影響を受け、共に活動するという、小中一貫教育校であることを強く感じることができた秋桜祭になったと思

ます。まさに、小中一貫教育校だからこそその文化祭ではないでしょうか。

その中に咲いた多くの笑顔と感動の涙、それを全校の児童生徒が一丸となって生みだし、表すことができ



たのが、第2回秋桜祭でした。こんな信濃小中学校と自分たちの姿に誇りを持ち、仲間を大切にする姿と笑顔で生活できる学校をいつまでも保ち続けてほしいと願います。



～咲き誇る歌の花～



富澤先生
ご指導の一場面



全校合唱「花は咲く」



歌うことにとっても前向きな子どもたちが、仲間との絆を深め、心をひとつにして取り組んだ合唱の成果を、2日目の音楽祭で披露しました。それに先立ち、今年も作曲家・編曲指揮者である音楽家の富澤裕先生をお招きして、9年生のクラス合唱、各学年の合唱、全校合唱を指導していただきました。子どもたちが富澤先生を見つめる目は真剣そのもの。そして先生は、身振り・手振りを交えたり、笑いをとったりしながら、子どもたちの歌声を変えていきます。子どもたちは自分たちの歌声の変化に気づき、教えてもらったことができるようなると、とても嬉しそうな表情を見せていました。また、「音に気持ちを込めること」「歌声に個人差がないこと」なども教えていただきました。子どもたちの歌声を聴いて、一年間の成長に大変驚かれました。

本番では、教えていただいたことや、自分たちで考えた表現を工夫しながら、元気いっぱい歌声と美しいハーモニーを体育館に響かせました。全校合唱では、東日本大震災の復興応援ソングとして作られ『花は咲く』を歌いました。今年の秋桜祭テーマは「笑」笑え！それが全ての原点！！でした。私たちだけでなく、たくさんの人に笑顔の花を咲かせたいという思いで、音楽祭で歌った全校合唱を、震災被害の大きかった陸前高田市と石巻市にコスモスの花の種とともに送ります。

「元気っ子まつり」 (初等部編)

「元気っ子グループ」(一年生)の仲間と築いてきたチームワークのよさを存分に発揮したのが秋桜祭の「元気っ子まつり」です。二学期のはじめに、グループごとやってみようとお店を決めました。そして、「どんな係が必要かな」「どんな道具を作ろうか」とみんなで相談しながら準備を進めました。道具や看板、ポスターを作り終え、最後の仕上げはお店の練習です。お客さん役とお店番に分かれて、お客さんへの声かけ方や案内の仕方をみんなでアドバイスし合いながら工夫しました。そして、迎えた本番。グループごとにお店番するグループとお店を回る「元気っ子まつり」が始まりました。どのお店にもお客さんが次々にやってきました。受付をしたり、遊びの説明をしたり、景品を渡したりと、みんな自分の仕事に一生懸命取り組んでいました。お店を回っている人たちも、思いきり楽しみました。



1年生だって一生懸命仕事します



お客さんに遊びのやり方を説明します



クイズをときながら迷路を進みます

午後は、高等部のみなさんをお招きして、初等部みなさんもおもてなし。「高等部コース」を登場させ、難易度をアップさせているお店もありました。高等部のみなさんにも楽しんでもらいたいという気持ちで、遊びの内容や声かけに表れていました。

今年「元気っ子まつり」では、グループの友だち、高等部のお兄さんお姉さん、地域のみなさん、先生方と、たくさんの方々と一緒に盛り上がることもできて、とても楽しいおまつりになりました。

お兄さんたちも来てくれたよ

受付は笑顔が命!

魚釣り大盛況

「次、順番だ！」音楽祭が終わりの、ほっとしたのもつかの間、3年生は初等部閉祭式の準備へ向かいます。4月からの縦割り活動、秋桜祭に向けて元気っ子祭りの準備を中心になって進めてくれた4年生に替わり、閉祭式は3年生が進めます。1年生から4年生が車座になって座り、2日間を振り返って、楽しかったことやうれしかったこと、がんばったことを自由に発言していきます。黒板に花が咲いていきました。お客さん

元気っ子発表会

昨年にはなかった新企画の「元気っ子発表会」。各クラスで学習してきたことや取り組んできた活動を発表するというのが、どんな風に伝えればいいのか、どんな声の大きさなら伝わるのか、それぞれ一生懸命考えながら準備を進めてきました。そして当日、劇あり歌ありコーダーあり；どのクラスも工夫をこらした発表をしてくれたので、飽きることなくあつという間に時間が過ぎていきました。お互いの発表に惜しみない拍手を送り合い、とても温かな雰囲気にも包まれた発表会となりました。

閉祭式

「次、順番だ！」音楽祭が終わりの、ほっとしたのもつかの間、3年生は初等部閉祭式の準備へ向かいます。4月からの縦割り活動、秋桜祭に向けて元気っ子祭りの準備を中心になって進めてくれた4年生に替わり、閉祭式は3年生が進めます。1年生から4年生が車座になって座り、2日間を振り返って、楽しかったことやうれしかったこと、がんばったことを自由に発言していきます。黒板に花が咲いていきました。お客さん



『花は咲く』合唱

一つの発言が一つの花びらに



今年、初めての試みの初等部閉祭式でしたが、楽しかった2日間をみんなで確認し合うことができました。最後には、初等部全員で『花は咲く』を歌い、秋桜祭の締めくくりとなりました。

子どもたちは「緊張した！」と言いつつも発表されました。4年生のすべりも発表されました。

今年、初めての試みの初等部閉祭式でしたが、楽しかった2日間をみんなで確認し合うことができました。



1年1組の発表「大きなかぶ」